

一般会計の市債現在高

(単位:千円)

令和4年度末時点現在高	45,976,493	市民一人当たりの借金	365
令和5年9月末時点現在高	43,623,772	市民一人当たりの借金	345

※令和4年度末人口 126,023人

市債とは・・・

主に市が公共施設の整備などの建設事業を行うために必要なお金を国や金融機関から調達する借入金(借金)のことを言います。

なぜ市債が必要なのか・・・

道路や学校などの公共施設は整備後、長い間使用します。整備の費用を市税などの収入だけでまかなうと、費用を負担するのはその年度の市民だけになり、不公平になってしまいます。そこで、借入金である市債を発行し、公共施設を使う次の世代には「借入金の返済」という形で費用を負担してもらうことで、負担を公平に分かち合うことができます。

市債を使わないで事業を行うと・・・

市民負担

建設する年度の市民が全額負担し、特定の世代に負担がかかってしまう。



市債を使うと・・・

公共施設を使う次の世代の市民も公平に建設の費用を負担。

市民負担

市民負担

市民負担

市民負担



(単位:千円)

基金の現在高

令和4年度末現在高

19,762,055

令和5年9月末現在高

15,026,390

主な財政用語のコーナー

歳出(使われるお金)

総務費

市の総合的な事務事業、交通安全、防犯対策等に要するお金



民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉及び子育て支援に要するお金



土木費

道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要するお金



教育費

小中学校をはじめ社会教育や文化振興などの教育全般に要するお金



公債費

市債の元金・利子の返済に要するお金



その他

消防、商工業振興、議会、ごみ処理などに要するお金



歳出(使われるお金)

- 市税…市民税や固定資産税など市民や法人が納めた税金
- 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金
- 国・県支出金…公共事業などの特定の目的の財源として、国や県から交付されるお金
- 市債…道路、公園、学校などの公共施設整備のために、市が借り入れるお金